学校番号	3010

令和5年度　　美術　　科

教科	美術	科目	美術概論	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	一冊でわかる美術史の基本（文教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一斉授業
・調べ学習

履修条件

なし

2　学習の到達目標

美術概論の学習を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) 芸術としての美術の意義や基礎的な理論について理解を深めることができるようにする。
(2) 美術に関する創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。
(3) 美術を専門的に学ぼうとする態度を養う。
1年次の美術概論では、地理や歴史、それにより育まれた伝統や文化、現代の社会を取り巻く状況・課題を取り入れながら、「美術とは何か」「美術を学ぶ意義とは何か」について学び、考えを深め美術に対しての専門的な視点を育成し、2年次以降の美術科実習につなげていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	芸術としての美術の意義や基礎となる理論について理解を深めている。 具体的には基礎となる美学や造形心理学などの諸理論を形や色彩，技法，材料や用具などに関する知識との関連を図りながら理解している。	美術に関する基礎的な理論を基盤にして，自然や生活，社会と美術との関係について考えたり，知的財産権や肖像権について学び，創造することの価値について捉えたりできる力を身に付けている。 具体的には地理や歴史との関連やそれぞれの風土と表現や画材との関連について考察することができる。 また、提出物作成においては知的財産権を踏まえて取り組むことができている。	芸術としての美術の意義や働きについて主体的に考察するなどして，美術を専門的に学ぼうとする態度を養うことをめざしている。 具体的には授業のみならず、展覧会鑑賞や美術を扱ったメディアを積極的に利用することや、美術について興味を持ったことについてインターネットや書物などから調べ、提出物等の内容をより深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	歴史に見る美術の発生	・美術と人間 ・世界にみる民族美術 　先史美術／風土と表現／民藝	a：地理や歴史との関連やそれぞれの風土と表現や画材との関連について考察することができる。 b：美術に関する基礎的な理論を基盤にして与えられた課題に取り組んでいる。 c：進んで興味を持ったことについて調べ、新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 美術エッセイ 定期考査	ワークシート 美術エッセイ
	美術に関する基礎的な理論Ⅰ	・東西の絵画空間 　透視図法／空気遠近法／その他の遠近法／東洋の絵画空間 ・球／円柱／直方体を描く ・動物の描き方 ・花（植物）の描き方 ・風景画の構図	a：東西の美意識や美術の成り立ちの違いを踏まえて知識を理解し、考察することができる。 b：美術に関する基礎的な理論を基盤にして与えられた課題に取り組んでいる。 c：進んで興味を持ったことについて調べ、新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 美術エッセイ 定期考査	ワークシート 美術エッセイ
2	美術に関する基礎的な知識	・美術で巡る世界地図 ・美術から見た西洋史 ・西洋画画材について ・彫刻について ・美術から見た日本史 ・日本画画材について	a：地理や歴史との関連やそれぞれの風土と表現や画材との関連について考察することができる。 b：美術に関する基礎的な理論を基盤にして与えられた課題に取り組んでいる。 c：進んで興味を持ったことについて調べ、新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 美術エッセイ 定期考査	ワークシート 美術エッセイ
	美術に関する基礎的な理論Ⅱ	・色彩 　色についての歴史／色彩の体系／配色技法 ・図案にみる構成 　構成とイメージ／図と地／シンメトリー／レピテーション／グラデーション	a：色彩の実践的な他の科目での経験を踏まえて知識を理解し、考察することができる。 b：美術に関する基礎的な理論を基盤にして与えられた課題に取り組んでいる。 c：進んで興味を持ったことについて調べ、新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 美術エッセイ 定期考査	ワークシート 美術エッセイ
3	美術に関する基礎的な理論Ⅲ	・西洋の人物表現 　比例／コントラポスト／明暗法 ・浮世絵の人物表現 　ポーズ／デフォルメ	a：東西の美意識や美術の成り立ちの違いを踏まえて知識を理解し、考察することができる。 b：美術に関する基礎的な理論を基盤にして与えられた課題に取り組んでいる。 c：進んで興味を持ったことについて調べ、新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 美術エッセイ 定期考査	ワークシート 美術エッセイ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度